

参考資料5 「建物内での日常事故に関するアンケート調査」－意識調査・調査票

意識調査一社団法人日本建築士事務所協会連合

建物内での日常事故に関するアンケート調査

国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部では、建物内での日常事故予防に関する研究活動の一環として、「建物内での日常事故に関するアンケート調査」を行うことになりました。

このアンケートは、日常事故について会社や建物管理に任せられている方が日頃お感じになっていることや、持たれている意識についてお尋ねし、事故予防に役立てることを目的としています。調査の結果は、統計的に処理し、回答者の個人情報が開示されることは一切ありませんので、どうぞご協力くださいとお願いたします。

※日常事故とは、日常生活時に建物内や建物の周辺で利用者が転倒したり、階段から転落したりなどといった事故に該当することを言います。

Q1 ご自身やご家族が、実際に下記の事故を経験する可能性はどのくらいだと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近い数字に○をつけて下さい。

	経験する可能性はない	ほとんど経験する	やや経験する	かなり経験する	経験に該当する
壁面（バランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に関じこめられる	1	2	3	4	5
震源7の地震にあり	1	2	3	4	5
自宅や勤務先で火災に巻き込まれる	1	2	3	4	5

1/8

Q2 ご自身やご家族が、実際に下記の事故に遭った場合、怪我等の影響（深刻さ）はどのくらいだと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近い数字に○をつけて下さい。

	全く深刻ではない	やや深刻ではない	やや深刻	かなり深刻	非常に深刻である
壁面（バランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に関じこめられる	1	2	3	4	5
震源7の地震にあり	1	2	3	4	5
自宅や勤務先で火災に巻き込まれる	1	2	3	4	5

Q3 下記の事故について、その事故が起きないよう、設計時や管理運営時での注意の取りやめなどはどのくらいだと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近い数字に○をつけて下さい。

	対策を取ることには同意	同意	やや同意	やや同意しない	同意しない	対策を取ることには同意しない
壁面（バランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5	5
エレベーター内に関じこめられる	1	2	3	4	5	5

2/8

Q4 以下の事故を防止するためには、「設計・建設時の事前対策」と、供用開始後の「建物管理時の事後対策」のどちらが効果的（より重要）だと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

設計・建設時の事前対策	供用開始後の建物管理時の事後対策	わからない				
1	2	3	4	5	0	
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5	0
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5	0
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5	0
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5	0
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5	0
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5	0
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5	0
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5	0

Q5 下記のそれぞれの事故は、利用者の注意によって防ぐ（なくす）ことは可能と思われるでしょうか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものをつけて下さい。

完全に防ぐことができない	利用者が注意すれば防ぐことが可能	利用者が注意すれば防ぐことが難しい	利用者が注意すれば防ぐことができない	利用者が注意すれば防ぐことが難しい	利用者が注意すれば防ぐことができない
1	2	3	4	5	0
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5

Q6 日常事故の防止で、情報の活用等についてお尋ねします。あなたご自身のお考えや、所属されている企業・組織での状況について、近いものに○を付けて下さい。自身の業務と関係なく判断ができない場合は、「わからない」に○をつけて下さい。

よく知っている	やや知っている	少し知っている	あまり知らない	ほとんど知らない	わからない	
1	2	3	4	5	0	
● 日常事故の予防に関して						
情報が蓄積され公開されると、建物は安全になっていく	1	2	3	4	5	0
情報が蓄積され公開されると、設計者や管理者の責任が増大する	1	2	3	4	5	0
情報が蓄積され公開されると、利用者からの不合理な訴えが増える	1	2	3	4	5	0
日常事故は建築基準法のような一律の基準で予防できる	1	2	3	4	5	0
日常事故は建築基準法のような一律の基準で予防できない	1	2	3	4	5	0
事故予防のために、設計者や管理者は公的機関に事故情報を積極的に提供すべきである	1	2	3	4	5	0
● 建築設計に関する事項について						
日常事故に対する建築設計者の認識や配慮は、足りないと思う	1	2	3	4	5	0
社外や組織の中で、日常事故に関する情報は蓄積・共有されて、設計に活かされている	1	2	3	4	5	0
発注者は、設計時に想定されている使用条件や留意すべき危険性について、十分理解している	1	2	3	4	5	0
設計時に管理者から事故情報のフィードバックが十分に得られている	1	2	3	4	5	0
日常事故に配慮すると、過剰設計になるので好ましくない	1	2	3	4	5	0
● 建物管理に関する事項について						
日常事故に対する建物管理者の認識や配慮は、足りないと思う	1	2	3	4	5	0
管理する建物で起きた事故の情報は記録・蓄積している	1	2	3	4	5	0
管理する建物で起きた事故の情報は設計者へフィードバックしている	1	2	3	4	5	0
管理者は、設計時に想定されている使用条件や留意すべき危険性について十分に把握し、情報を引き継いでいる	1	2	3	4	5	0
建物保守・管理サービス会社における事故防止対策の徹底や質が評価されるようにすべきである	1	2	3	4	5	0
事故が生じずに長期間使用されている建物は、安全と見なして良い	1	2	3	4	5	0

Q7 建物に関する安全性や経済性に関する以下の項目について、設計制と発注・管理制との間で協議を行うことがありますか。通常の設計・施工業務での進行段階において、協議を行っている段階全てにチェックをしてください。

※ 戸建て住宅以外の建物での協議を想定して下さい。様々な建物用途が想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

（記入例）基本設計・詳細設計・施工段階での協議を行う場合	企業・計画段階	基本設計段階	業種別設計段階	施工・構造設計段階	竣工・維持保全段階	竣工・維持保全段階	定期的な点検はない	定期的な点検はない	定期的な点検はない
建設コスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
建物の耐久性（材料選定など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
建物のメンテナンス性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ライフサイクルコスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
防犯・セキュリティ対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バリアフリー・UD対応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
火災時の避難計画	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地震に対する安全性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
日常事故対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

UD:ユニバーサルデザイン

Q8 日常事故に対する対策や検討を行なう際に、以下の項目が購書となるようなことはありますか。日常の業務の範囲で実際に購書となりえるものを全てお選びください。

- 対策や検討にコストをかけることができない
- 対策や検討に問題をかけることができない
- 対策や検討に人を動かすことができない
- 日常事故の発生メカニズム（どこでどのように起きているか）が分からない
- 日常事故対策に対する知識・ノウハウがない（どのように防げかわからない）
- 関係者の日常事故に対する意識が低い、理解がない
- 他の建物性能（メンテナンス性など）とのトレードオフ
- その他（)

- 購書となるものはない
- 分からない/自身の業務とは関係ない

5/8

Q9 国土技術政策総合研究所で公開している「建物事故予防ナレッジベース」についてお尋ねします。

9-1. このアンケート以前に、「建物事故予防ナレッジベース」を知っていましたか？

- 知っていた → 以下の設問にお答えください。
- 知らなかった → Q10 にお答えください。

9-2. 「建物事故予防ナレッジベース」をどこで知りましたか？

- 新聞・雑誌の記事
- 国土交通省のプレスリリース
- 他の関連サイト（日本建築防協会など）
- ネット検索
- 社内の広報
- 知人の紹介
- その他（)

9-3. このアンケート以前に、「建物事故予防ナレッジベース」を使ったことがありますか？

- 使ったことがある → 以下の設問にお答えください。
- 使ったことはない → Q10 にお答えください。

9-4. 使った目的はどのようなものでしたか？

9-5. 必要な情報は得られましたか？

- 得られた → 具体的に得られた情報をお答えください。

- 得られなかった
→ 必要な（知りたかった/欲しかった）情報はどのようなものでしたか？

6/8

Q10 普段の業務の中で建物周辺での日常事故を予防するために取っている対策や心がけていることがありましたらお聞かせください。

Q11 日常事故を予防するために有効であると思われる対策がありましたら、お聞かせください。

Q12 あなた自身についてお尋ねします。あてはまるものを、チェックして下さい。

12-1. 会社の業種をお選びください

<input type="checkbox"/> 設計事務所	<input type="checkbox"/> センコン・工務店	<input type="checkbox"/> 建築設備会社	<input type="checkbox"/> 住宅メーカー
<input type="checkbox"/> 建材・機器メーカー	<input type="checkbox"/> 不動産・開発会社	<input type="checkbox"/> ビル管理会社	<input type="checkbox"/> 保険会社
<input type="checkbox"/> コンサルタント	<input type="checkbox"/> 研究教育機関	<input type="checkbox"/> 官公庁	<input type="checkbox"/> 公益法人
<input type="checkbox"/> その他 ()			

12-2. ご自身の業務内容(職種)をお選びください

<input type="checkbox"/> 建築・構造設計	<input type="checkbox"/> 内装設計	<input type="checkbox"/> 建築施工・施工管理	<input type="checkbox"/> 設備設計・施工
<input type="checkbox"/> 技術開発	<input type="checkbox"/> 商品開発	<input type="checkbox"/> 企画・調査	<input type="checkbox"/> 営業
<input type="checkbox"/> 保守・保全	<input type="checkbox"/> 建物経営管理・FM	<input type="checkbox"/> 研究教育	<input type="checkbox"/> 学生
<input type="checkbox"/> 行政	<input type="checkbox"/> その他 ()		

Q13 後日、日常事故に対する取り組みやお考えに関して、メール等で個別にお伺いしてもよろしいでしょうか。
(お伺いした内容や結果は無断で公表することはありません)

はい →下記に連絡先をご記入ください
 いいえ

会社名: _____
 部署名: _____
 ご氏名: _____
 ご住所: _____
 E-mail: _____

アンケートは以上です。
 お忙しいところご協力くださり、本当にありがとうございました。
 このアンケートは3月5日(金)までに、返信用封筒に入れ投函して下さい。

調査実施事務局
 有限責任事業組合 人間環境デザイン研究所
 〒153-0061 東京都目黒区目黒1-8-3 F2ビル4階
 TEL 03-5843-7826 FAX 03-5791-7144
 office@hed-lab.jp (担当: 塚田)

7/8

意識調査一社団法人日本ビルディング協会連合会

建物内での日常事故に関するアンケート調査

国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究所では、建物内での日常事故予防に関する研究活動の一環として、「建物内での日常事故に関するアンケート調査」を行うこととなりました。

このアンケートは、日常事故について設計や建物管理に従事されている方がお感じになっていることや、持たれている意識についてお尋ねし、事故予防に役立てることを目的としています。調査の結果は、統計的に処理し、回答者の個人情報が公開されることは一切ありませんので、どうぞご協力くださいますようお願いいたします。

※日常事故とは、日常生活時に建物内や建物の周辺で利用者が転倒したり、階段から転落したりなどといった事故に遭遇することを言います。

Q1 自身やご家族が、実際に下記の事故を経験する可能性はどのくらいだと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近い数字に○をつけて下さい。

経験する可能性はない	低い	やや低い	平均	やや高い	高い	非常に高い
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4	5	5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4	5	5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4	5	5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4	5	5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4	5	5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4	5	5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4	5	5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4	5	5
震度7の地震にあう	1	2	3	4	5	5
自己や勤務先で火災に巻き込まれる	1	2	3	4	5	5

Q2 自身やご家族が、実際に下記の事故に遭った場合、怪我等の被害（深刻さ）はどのくらいだと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

全く深刻ではない	やや深刻ではない	平均	やや深刻	非常に深刻である
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4 5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4 5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4 5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4 5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4 5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4 5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4 5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4 5
震度7の地震にあう	1	2	3	4 5
自己や勤務先で火災に巻き込まれる	1	2	3	4 5

Q3 下記の事故について、その事故が起きないよう、設計時や管理運営時での対策の取れやすさはどのくらいだと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

対策がとりにくい	やや対策がとりにくい	平均	やや対策がとりにくい	非常に対策がとりにくい
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1	2	3	4 5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1	2	3	4 5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1	2	3	4 5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1	2	3	4 5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1	2	3	4 5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1	2	3	4 5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1	2	3	4 5
エレベーター内に閉じこめられる	1	2	3	4 5

Q4 以下の事故を防止するためには、「設計・建設時の事前対策」と、利用開始後の「建物管理時の事後対策」のどちらが効果的（より重要）だと思いますか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	設計・建設時の事前対策	利用開始後の事後対策	わからない
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1 2 3 4 5 0	1 2 3 4 5 0	0
転落（階段から転げ落ちる事故）	1 2 3 4 5 0	1 2 3 4 5 0	0
転倒（床の上で転ぶ事故）	1 2 3 4 5 0	1 2 3 4 5 0	0
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1 2 3 4 5 0	1 2 3 4 5 0	0
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1 2 3 4 5 0	1 2 3 4 5 0	0
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1 2 3 4 5 0	1 2 3 4 5 0	0
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1 2 3 4 5 0	1 2 3 4 5 0	0
エレベーター内に閉じこめられる	1 2 3 4 5 0	1 2 3 4 5 0	0

Q5 下記のそれぞれ別の事故は、利用者の注釈によって防ぐ（なくす）ことは可能と思われるでしょうか。様々なケースが想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

	利用者が注意すれば安全になる	利用者が注意すればかなり減る	半分程度は減る	利用者が注意すれば少しは減る	利用者が注意すれば全く減らない	利用者が注意しても変わらない
墜落（ベランダや屋上などの高所から落ちる事故）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
転落（階段から転げ落ちる事故）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
転倒（床の上で転ぶ事故）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
落下物（建物の上から落ちてきたものに当たる事故）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
ぶつかり（建物の一部に体をぶつける事故）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
挟まれ（扉などに挟まれる事故）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
こすり（建物の一部に体をこする事故）	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
エレベーター内に閉じこめられる	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

Q6 日常事故の防止や、情報の活用等についてお尋ねします。あなたに自身のお考えや、所属されている企業・組織での状況について、近いものに○をつけて下さい。自身の業務と関係なく判断ができない場合は、「わからない」に○をつけて下さい。

	しっかりと取り組む	やや取り組む	しっかりと取り組まない	あまり取り組まない	全く取り組まない	わからない
● 日常事故の予防に関して						
情報が整備され公開されると、建物は安全になっていく	1	2	3	4	5	0
情報が整備され公開されると、設計者や管理者の責任が増大する	1	2	3	4	5	0
情報が整備され公開されると、利用者からの不合理な訴求が増える	1	2	3	4	5	0
日常事故は建築基準法のような一律の基準で予防できる	1	2	3	4	5	0
日常事故は建築基準法のような一律の基準で規制すべきである	1	2	3	4	5	0
事故予防のために、設計者や管理者は公的機関に事故情報を積極的に提供すべきである	1	2	3	4	5	0
● 建築設計に関する事項について						
日常事故に対する建築設計者の認識や配慮は、足りないと思う	1	2	3	4	5	0
社内や組織の中で、日常事故に関する情報は蓄積・共有されて、設計に活かされている	1	2	3	4	5	0
丹注者は、設計時に想定されている使用条件や留意すべき危険性について、十分理解している	1	2	3	4	5	0
設計時に管理者から事故情報のフィードバックが十分に得られている	1	2	3	4	5	0
日常事故に配慮しすぎると、過剰設計になるので好ましくない	1	2	3	4	5	0
● 建物管理に関する事項について						
日常事故に対する建物管理者の認識や配慮は、足りないと思う	1	2	3	4	5	0
管理する建物で起きた事故の情報は記録・蓄積している	1	2	3	4	5	0
管理する建物で起きた事故の情報は設計者へフィードバックしている	1	2	3	4	5	0
管理者は、設計時に想定されている使用条件や留意すべき危険性について十分に把握し、情報を引き継いでいる	1	2	3	4	5	0
建物保守・管理サービス会社に対する事故対応策の対応や質が評価されるようにすべきである	1	2	3	4	5	0
事故が生じずに長期使用されている建物は、安全と見なして良い	1	2	3	4	5	0

Q7 建物に関する安全性や経済性に関する以下の項目について、設計制と発注・管理制との間で協議を行うことがありますが、通常の設計・施工業務での進行段階において、協議を行っている段階全てにチェックをしてください。
 ※ 戸建住宅以外の建物での協議を想定して下さい。様々な建物用途が想定されますが、総合的に判断して、お考えに近いものに○をつけて下さい。

（記入例）基本設計・実施設計・施工段階での協議を行う場合	企画・計画段階	基本設計段階	実施設計段階	竣工・維持保全段階	竣工・維持保全段階	適切な対応はしない	適切な対応は難しい
建設コスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
建物の耐久性（材料選定など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
建物のメンテナンス性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ライフサイクルコスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
防犯・セキュリティ対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バリアフリー・UD対応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
火災時の避難計画	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地震に対する安全性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
日常事故対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

UD:ユニバーサルデザイン

Q8 日常事故に対する対策や検討を行なう際に、以下の項目が障害となるようなことはありますか。日常の業務の範囲で実際に障害となりえるものを全てお選びください。

- 対策や検討にコストをかけることができない
- 対策や検討に時間をかけることができない
- 対策や検討に人を割くことができない
- 日常事故の発生形態（どこでどのように起こっているか）が分からない
- 日常事故対策に対する知識・ノウハウがない（どのように防げかわからない）
- 関係者の日常事故に対する意識が低い、理解がない
- 他の建物性能（メンテナンス性など）とのトレードオフ
- その他（ ）
- 障害となるものはない
- 分からない/自身の業務とは関係ない

5/7

Q9 普段の業務の中で建物周辺での日常事故を予防するために取っている対策や心がけていることがありましたらお聞かせください。

Q10 日常事故を予防するために有効であると認められる方策がありましたら、お聞かせください。

Q11 あなた自身についてお尋ねします。あてはまるものを、チェックして下さい。

- 11-1. 会社の業種をお選びください
- 設計事務所
 - 建設事務所
 - 建材・機器メーカー
 - コンサルタント
 - その他（ ）
 - センコン・工務店
 - 不動産・開発会社
 - 不動産会社
 - 研究教育機関
 - 官公庁
 - 住宅メーカー
 - 保険会社
 - 公益法人
- 11-2. ご自身の業務内容（職種）をお選びください
- 建築・構造設計
 - 内装設計
 - 建築施工・施工管理
 - 技術開発
 - 商品開発
 - 企画・調査
 - 保守・保全
 - 建物経営管理・FM
 - 研究教育
 - その他（ ）
 - 設備設計・施工
 - 営業
 - 学生

6/7

Q12 後日、日常事故に対する取り組みやお考えに関して、メール等で個別にお問い合わせしていた
だいてもよろしいでしょうか。
(お問い合わせの内容や結果は無断で公表することはありません)

- はい →下記に連絡先をご記入ください
 いいえ

会社名: _____

部署名: _____

ご氏名: _____

ご住所: _____

E-mail: _____

アンケートは以上です。

お忙しいところご協力くださり、本当にありがとうございました。

このアンケートは9月17日(水)までに、返信用封筒に入れ投函して下さい。